

ひかり

2026年1・2月号



St. John

日本聖公会 三光教会

第740号

〒142-0064 東京都品川区旗の台 6-22-24

電話 03(3781)2554

FAX 03(3781)2544

<http://nssk.org/tokyo/church/sanko/stephen/>

創立 救主降誕 1912年(大正元年)11月2日

「イエスは答えて言われた。「よくよく言っておく。人は、新たに生まれなければ、神の国を見ることはできない。」

(ヨハネによる福音書 3-3)

雲の上はいつもお天気

司祭

シモン・ペテロ 上田憲明

「雲の上はいつもお天気」ということが昔あったが、実際はじめて飛行機に乗ってみた時に、まぶしいほどの太陽の光が雲の上にはあり、何にも遮られずにサンサンと輝いていた。どんよりした雨雲の上でも、前が見えなくなるほどの雪が降っている時でも、雲の上は光が満ちている。そしてそれは夜になり、真っ暗になっても、地球のこちら側だから、地球そのものが太陽光を遮って暗くなっているだけで、地球の反対側には相変わらず太陽の光は照らしているのだと、改めて当たり前のことを、思い出させてくれる。それは、私たちの心の状態にも言えるのではないかと思う。何もかももうまくいかず、暗く落ち込む時、私たちは光がなくなったように感じ、思ってしまう。しかし実は今自分は暗い方にいるだけのこと、光がなくなっただけではないことを思いだしたいものである。

光が今は単に見えていないだけなのである。しかも光は私たちからは見えなくても思いがけない所を照らしてくれているのである。

4月の年度がわりの時期になると、いつも思い出すシーンがある。それは、私が小学5年生になった時のことである。私は3、4年生の時の担任の先生とうまく行かず、5年生のクラス替えの日まで、あと何日と文字通り指折り数え、その日だけを楽しみに4年生を過ごした。クラス替えの当日、全員が集められ、一人ずつクラスが発表された。すぐに私の番がやってきて、発表している先生が読み上げた、「上田君、1組」。目の前が真っ暗になるとはこのことで、また、その（今ではありえないが、当時は当たり前のよう）に思われていた暴力教師であった）担任の先生と2年過ごさなければならぬのだ。がつくりしてそのクラスの列にうなだれて肩を落として加わったのだと思う。急に声が聞こえた。「あ、間違え、上田君は2組」。驚いて見上げて、夢のような出来事があったように、ど

う歩いたのかも覚えていないような感じで、2組の方に移った。そのあと、順番に名前が呼ばれて、他の人たちも組が決まっていく。あまりの浮き沈みの激しい出来事にぼんやりしていた私は、気持ちが悪く落ちてきて急に気がついた。「今日は何ていい天気なんだろう。」と。その時のことを今思い出すと、不思議な気がする。たとえ、がつくりきた結果のままだったとしても、その日はいい天気だったのだ。自分が単に気がつかなかっただけなのだ、ということに。そして光は、最初から、私に気がつかなかっただけで、いやだ、いやだと思っていた間でさえもずっと照らして続けてくれていたのだということに。



5日(日)	復活日	22日(日)	◆2月 大齋節第1主日 堅信受領者総会
4日(土)	復活前水曜日	23日(月)	殉教者主教ボリカンプ
3日(金)	聖木曜日	24日(火)	使徒聖マツテヤ日
2日(木)	聖金曜日 (受苦日)	25日(水)	春期聖職按手節
1日(水)	復活前水曜日	27日(金)	春期聖職按手節
◆4月		28日(土)	春期聖職按手節
31日(火)	復活前水曜日	1日(日)	◆3月 大齋節第2主日
30日(月)	復活前月曜日	2日(月)	3月逝去者記念礼拝
29日(日)	復活前主日	7日(土)	殉教者パヘチュアと仲間たち
25日(水)	復活前主日	8日(日)	大齋節第3主日
22日(日)	大齋節第5主日	12日(木)	主教教会博士グレゴリー
21日(土)	主教トマス・克蘭マー	15日(日)	大齋節第4主日
19日(木)	聖ヨセフ日	17日(火)	主教バトリック
18日(水)	主教教会博士エルサレムのシリル	18日(水)	主教教会博士エルサレムのシリル

公 示

日本聖公会法規第138条の規定に従い、日本聖公会東京教区 三光教会（定期）堅信受領者総会を下記のように召集します。

なお、堅信受領者総会を欠席された場合は議場に一任とみなします。

2026年1月25日 顕現後第3主日
日本聖公会 東京教区 三光教会
牧師 司祭 シモン・ペテロ上田 憲明

記

- 日時： 2026年2月22日(日) 大齋節第1主日 第Ⅱ聖餐式後
 場所： 三光教会 聖堂
 議案1. 2025年度教務報告 承認の件
 議案2. 2025年度活動報告 承認の件
 議案3. 2025年会計決算報告・会計監査報告 承認の件
 議案4. 2026年度活動計画案 承認の件
 議案5. 2026年度会計予算案 承認の件

「生かされみ旨を行つ」

黒川 正三

2019年の末に始まった新型コロナウイルスは、6年を経過した今もその脅威を完全に消滅させることができていません。

影響は教会にもおよびました。聖堂に信徒が集まれなくなった時、対策として司式者のみによるネットでの礼拝配信が始まりました。しかし配信の礼拝はあまりにも味気なく、せめて聖歌を加えたいとの思いから始めたのがチェロとオルガンによる聖歌の演奏でした。演奏を加えたライブでの配信はボリューム調整や機器の操作が難しく初めは何もかも手探りで大変でしたが、専門家の協力もいただき、当時の荻原執事（現司祭）と信徒の有志の方々が次第に技術を向上させて、礼拝の安定配信がされるようになっていきました。


私と家内は毎週平日に練習に通っていましたが、これが「聖堂

の響き」としてYouTube配信に成長しました。誰もいない聖堂で夏は暑く冬は寒い中、演奏を三脚に固定したビデオカメラで撮り、音はレコーダーで別録りしました。家に帰って映像と音声と同調させ、歌詞とそれに合致する写真を入れると、我ながらすてきな動画になりYouTubeに載せました。回を重ねるにつれ編集の技術も上がり楽しくなりましたが、たかが10分足らずの画像のために数時間、ときには数日を費やすのはなかなか忍耐が要りました。それでも続けられたのは、家内が動画に載せる写真の撮影に凝りだしたおかげもありました。聖書日課に基づいて聖歌選びをしているオルガニストとして、歌詞に沿った映像選びは不可避です。

費やした膨大な時間に勝るよるこびがその意義にありました。1年にわたる聖歌の動画は私たちの宝となり、今もYouTubeで見ることが出来ます。

コロナの影響も次第に薄れ礼拝も徐々に正規の形に戻っていきましたが、礼拝に信徒の歌声が戻っても聖歌に私のチェロを加えることは続いています。三光教会の礼

拝の聖歌にはチェロが入るのが当たり前…なんとうれしいことでしょう。「どうか、聖霊によってわたしたちをこの世に遣わし、み旨を行う者とらせてください」私をこの世に生かしてください。神さまのみ旨だと思っています。



三光教会チャーチコンサート

～教会暦に沿ったコンサート～

2026年3月28日(土) 午後2時開演

＜入場無料＞


ペルゴレージ

スターバトマーテル

ほか

ソプラノ	澤江 衣里	ヴァイオリン	黒田 玲
アルト	布施 奈穂子		今村 亜里子
オルガン	黒川 文子	チェロ	黒川 正三

お祈りとお話 牧師 上田憲明 司祭



教会のお掃除にご協力を

聖堂内外のお掃除の協力者が少なくなりました。土曜日の午前10時から1時間程ご奉仕ください。ご協力いただける方は直接参加してください。

はじめて教会にいらした方へ

礼拝様式に馴れない方は椅子にお掛けになったままで結構です。

- 礼拝中の献金は、信施金として伝道のために献げられるものです。金額は自由です。
- わからない点は隣の席の者か案内係にお聞きください。

礼拝のご案内

- 主日礼拝
 - 午前 7:30 聖餐式
 - 午前 10:00 ステパノ会 (日曜学校)礼拝
 - 午前 10:30 聖餐式
 - 午後 4:00 夕の礼拝
- 平日礼拝
 - 毎朝 6:30 から
 - 月、水、金は朝の礼拝、火、木、土は聖餐式